

市長賞



第二中学校
2年

ワカバヤシ アカリ
若林 明里

(講評)

「水と共に生きている」という言葉の通り、水道水を始めとして水が人間にとって欠かせないものであり、水もまた命そのものであると思わせる作品である。

水滴と水玉の構成で画面に軽重がつけられており、水と関わるくらしの様子が幅広く表現されている。

議長賞



第三中学校
2年

ヒノ ルカ
日野 瑠香

(講評)

蛇口から流れ出る水道水が両手の平にためられ、そこから日常生活の利水場面が広がっている。淡い色調で丁寧に描かれた作品である。

日常の中にあって、日常を支える水の貴重さが分かる。

局長賞



第二中学校
3年

ナガサワ ホノカ
長沢 穂香

(講評)

水道水の一滴の中に利水の様子が描かれている。

水一滴がもつ役割を感じさせる作品である。



第二中学校 1年
トウマ ヒロキ
藤間 紘希

(講評)

水源から利水場面までをふかんして描いた作品である。

節水の表現は伝わりにくいですが、ぼう大な量の水がひとつの町全体を支えていることが分かり、少しずつの節水が全体で集まると大きな効果を生むことは感じさせる。



第二中学校 3年
タカタ リオ
高田 莉緒

(講評)

デザイン的にすっきりとまとめられた作品である。

抽象的ながら水の表現も動きがあり目を魅くものがある。



第二中学校 3年
タクワ コノカ
澤和 このか

(講評)

雨水をためたバケツであろうか、キャラクターと共に一見かわいく描いているが、水道が使用できない状況とはこういうことだろうかと思わせる作品である。絵柄のポップさに反して、言葉の重さが響く表現である。